

| | |
|--------|---------------------------------|
| 代表部署 | 熱海市 水道温泉課 |
| 電話番号 | 0557-86-6481 |
| E-Mail | koekigyo@city.atami.shizuoka.jp |

| | | |
|-------|---|----|
| 分野 | 災害復旧 | |
| 開始・終了 | 開始 平成 24 年度 | 終了 |
| 連携先 | 湯河原町 | |
| 契機 | 湯河原町と本市は、「地震等災害時の相互応援に関する協定」を締結し、熱海・湯河原広域行政推進協議会において、緊急時水道連絡管の設置について議題が挙がり、実施に向けた整備計画を協議した。 | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> 本市泉地区と神奈川県湯河原町を結ぶ千歳川に水道連絡管を整備し、互いに給水ができるようにし、災害等の緊急時に対応するもの。 整備費用（432 万円）は、本市と湯河原町で折半した。 また、年 1 回訓練を兼ねて、水道連絡管の操作方法および排泥処理を双方において実施している。 | |
| 成果 | 災害時の備えのひとつであり、県を超えた湯河原町との連携・情報共有が可能となった。 | |



着前

熱海側から湯河原側を望む



完成

熱海側から湯河原側を望む



熱海側排泥口



湯河原側側排泥口

| | |
|--------|---------------------------------|
| 代表部署 | 熱海市 水道温泉課 |
| 電話番号 | 0557-86-6481 |
| E-Mail | koekigyo@city.atami.shizuoka.jp |

| | | | |
|-------|---|----------|----|
| 分野 | 災害復旧 | | |
| 開始・終了 | 開始 | 令和3年4月1日 | 終了 |
| 連携先 | 国際医療福祉大学熱海病院、南あたま第一病院 | | |
| 契機 | 令和元年に発生した県営駿豆水道断水時の給水活動時に、水が必要不可欠である病院等への給水方法が課題となったため、医療用上水の給水が迅速に行える方法を模索した。 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模災害等の非常時における医療用上水の供給をスムーズに行うため、優先給水方法をあらかじめ定め、災害拠点病院等と緊急給水について協定を締結するもの。 ・ 令和3年4月1日付で、災害拠点病院の指定を受けている国際医療福祉大学熱海病院と協定を締結、その後、令和3年11月9日に南あたま第一病院と協定を締結した。 ・ 協定を締結するにあたり、応急給水栓および給水車から貯水槽へ直接送水できるように整備を病院側が行う。 | | |
| 成果 | 病院側との迅速な連絡・調整が可能となった。 | | |